

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		伝統郷土芸能等支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名	高木敏明
	施策	22	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名	渡辺紀子
	基本事業	78	伝統文化の継承		所属班	生涯学習班	(内線)	1504
予算科目 会計 1 10 5 7 事業連番 10927					<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 9 コスト削減優先度評価結果 6*2	
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存・継承活動の支援。(竹迫観音祭保存会、城山祭実行委員会、須屋小屋地蔵祭実行委員会、弘生ウソカ工保存会、合志町高千穂神楽保存会、須屋神楽保存会、黒石神楽保存会、合志八竜太鼓愛好会、弁天太鼓保存会、須屋太鼓保存会、合志市郷土史愛好会)								
【業務の流れ】 補助金交付に係る申請の受理、審査、交付決定、支払い、交付確定。								
【主な予算費目】 役務費、負担金補助および交付金(補助金)								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 補助金交付による各種保存会等への支援 各種助成金等の案内	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 各伝統郷土芸能保存団体	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 補助金交付団体数 団体 イ 補助金交付額 円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域ごとの伝統芸能や歴史的な祭りが保存・継承される	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 各種伝統郷土芸能保存団体数 団体 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 継承されている。後継者が育成されている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 保存・継承できた保存団体の割合 % イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 後継者のいる団体数と割合 団体 イ "

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	915	828	828	828	823	823	
	(A) 事業費計	千円	915	828	828	828	823	823	823	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	5	2	2	2	2	2	2		
延べ業務時間	時間	216	200	240	200	200	200	200		
(B)人件費計	千円	858	796	955	796	796	796	796	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,773	1,624	1,783	1,624	1,619	1,619	823	0	
活動指標	ア 団体 イ 円	11 915	11 823	11 823	11 823	11 823	11 823	11 823	11 823	
対象指標	ア 団体 イ	11 11	11 11	11 11	11 11	11 11	11 11	11 11	11 11	
成果指標	ア % イ	100 63.6	100 63.6	100 63.6	100 63.6	100 63.6	100 81.8	100		
上位成果指標	ア 団体 イ %	7 63.6	7 63.6	7 63.6	7 63.6	7 63.6	9 81.8	9		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
各地域にある伝統郷土芸能の保存・振興を図るために開始された。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
現在、各地域にある保存団体の後継者育成及び確保が困難になっている。地元の若い世代が流出しているのが原因である。新興住宅街には若い世代が多いが、昔からの地域の伝統郷土芸能を理解していくには時間がかかる。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
補助金の申請者からは、財政緊縮の折補助金の削減は仕方ないが、活動がしにくくなるのが懸念されるとの声がある。

事務事業名	伝統郷土芸能等支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の地域ごとの伝統芸能や歴史的な祭り等の保存・継承をすることにより、結果の保存及び後継者育成をし伝統芸能や歴史的な祭りを後世に引き継ぐことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市の伝統文化の継承を支援することは、行政の責務の1つであるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 後継者育成のため、各団体と地元子ども会や小中学校との連携を促す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 保存活動を継続できない団体が出てくるおそれがあり、伝統郷土芸能が失われる可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似事業がないため <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 補助金の交付を受けずとも活動の継続が可能がある可能性もあり、逆に多くの補助金を必要としている団体もある。補助金交付団体および金額の精査が必要。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限に抑えているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 郷土伝統芸能の継承活動は、地域の文化振興にも大きく貢献するため。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	後継者育成のため、各団体と地元子ども会や小中学校との連携を促す。 補助金の交付を受けずとも活動の継続が可能がある可能性もあり、逆に多くの補助金を必要としている団体もある。補助金交付団体および金額の精査が必要。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
後継者が不足している団体もあるため、補助金だけでなく、国、県や各種団体からの後継者育成に関する有益情報や、子どもを対象とした継承活動の助成に関する情報の提供など、他方面からの支援も必要と思われる。また、補助金がなくても活動できる団体には自主運営を促し、より補助金の必要な団体には補助金の増額も検討するなど、現在よりも具体的な積算基準を設定し、金額と交付団体の精査を行う必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下				
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
低下																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

各課で把握している事業活性化や助成に関する情報の共有。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	3	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)